

2012年度協定校留学近況報告書

記 入 日	2012年 11月 16日
留 学 先 大 学	マンチェスター大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):人文科学, (現地言語での名称):Humanities</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2012年9月ー2013年6月
明 治 大 学 での 所 属	政治経済学部経済学科開発経済学専攻 / ____研究科____専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

ゼミの先輩が前年にアメリカへ留学していたので、その経験を聞くことができた。また、ブリティッシュ・カウンシルの英国留学説明会に参加し、現地での生活経験を聞き、イギリスへの留学がどのようなものなのか有益な情報を得た。インターネットも活用して、経験者のブログ等を読んだが、一番良いのはやはり経験者から直接話を聞くことだった。留学についての情報に準備不足は感じなかったが、現地に到着してから英語はもっと準備しておいたほうが良かったと思った。学内選考に通って、留学がほぼ確定したと同時に、それ以前よりも英語の勉強を疎かにしてしまったからだ。スピーキング、リスニングなどは留学が決まってからも継続的に練習したほうが良いと思う。それ次第で留学が始まってからのスタートが変わってくる。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:UK Tier4 Visa	申請先:UK Border Agency
ビザ取得所要日数:1週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:37570円
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？	
UKビザのホームページからダウンロードできるPOINTS BASED SYSTEM APPENDIX 8とオンライン申請の時に記入した書類の提出を求められた。日本は“low risk country”として認められているため、財政状態を証明する必要はなかった。また、マンチェスター大学は“Highly Trusted Status”を持っていたので、英語テストの成績証明、学校の成績証明も必要なかった。全て一応用意したが、全く使わず、書類は2種類のみでビザを取得できた。	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
ビザ申請書をオンラインで完成させ提出する→ビザ申請センターの予約を取る→予約した日時にビザ申請センターに出向く →申請を許可されたら発行されるまで待つ→ビザ申請センターに受け取りに行く。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？	
なし	
ビザ取得に関して困った点・注意点	
UKビザ所得を経験した人が周りにいなかったため情報が少なかった。インターネットをかなり活用した。上記した通り必要書類はともになかったが、本当に必要がないのか確信が持てなかったため全て用意した。出発の3ヶ月前から申請可能だったが、記入ミス等がなければ申請してから1週間で取得できたので、時間には余裕があった。情報が少なかったので焦って準備したが、慌てる必要はなかった。	

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

現地で銀行口座を開設するまではお金が送金できないので、開設するまではキャッシュパスポートを利用した。日本で簡単に申請することができ、お金を口座に入れておけばイギリスのどの ATM からもお金を引き出すことができるので大変役に立った。荷物は全て手荷物で持っていくことはできなかったため運送してもらった。日本郵便のEMSを利用した。税関を通るのに時間がかかるので到着までは1週間程度かかった。高額なものを運送してもらおうと高い税率の関税を取られてしまう。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ヴァージンアトランティック航空、ブリティッシュエアウェイズ			
航空券手配方法	H.I.S.を利用した。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	マンチェスター空港	現地到着時刻	17時	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	30分			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

到着当日はキャンパスに行く必要がなかったため、直接事前に予約していたホテルに向かった。荷物がとても多かったためタクシーを利用した。20~30分乗って1000円くらいかかった。寮に入居できる日がオリエンテーションが始まる前日だったので、余裕を持って現地に到着し、入居できるまでの数日間はホテルに滞在した。

大学到着日	9月10日18時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 9月13日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(正規の学生と留学生)	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	大学の寮のホームページから希望の住居を申請。住居確定の結果が来てから、前金を支払い出発前の手続きは完了。留学生は学生寮に住めることが確約されていた。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

留学生は大学の寮に入れることを確約されていたので、手続きさえすれば渡航前に寮を予約することが簡単にできた。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9/13~16
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容の様子は?	留学生向けのオリエンテーション期間が1週間あった。その期間の中で生活や勉強の話扱う必ず参加しなくてはならないオリエンテーションは2つしかなく、それ以外は自由にアクティビティーに参加することができた。ソーシャルイベントなども数多くあった。オリエンテーションの期間が終わった16日以降の授業が始まるまでの1週間は特にやることがなかったので、この期間で生活に慣れることができた。

留学生用 特別がイタンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月24日から
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
なし	
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
特になし	
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
開設した。学生証を発行してもらうときに、それと同時に口座を開設するのに必要な書類を発行してもらえた。その書類とパスポートを銀行に持っていき、簡単に口座を開設することができた。開設を申請した翌週に口座が使えるようになった。口座を開設するのに必要な書類を発行してもらうときにどこの銀行が良いのかを聞かれるので、事前に決めておくことが必要。私は全く決めてなかったので一番有名な銀行を教えてください、その銀行口座を開設した。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
購入した。イギリスは日本と違い携帯電話の規制が緩い(SIMフリー)。契約方法が月額制とプリペイド制の2つがあり、プリペイド制の場合、携帯電話ショップでほしい携帯を伝えれば、複雑な手続きも書類も必要なくその場で携帯を買うことができる。料金は月 2000 円でネットを使いたい放題。プリペイド式なので、月に1回スーパーなどで入金する(トップアップ)必要がある。	
V. 履修科目と授業について	
1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前に(5月1日頃)	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 到着後に()月()日頃)	
<input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()	
登録時に留学生として優先されることは	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？	
留学生は特定の学科に所属しないため、人文科学学部の科目ならどれでも履修することができた。しかし、3年生向けの科目は英語力が原因で履修を拒否された。	
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？	
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？	
変更可能。履修確定の書類は授業が始まった1週間後に提出する必要があった。事前に申し込んでいたため、授業どうしの時間が被ることがない限り希望通りの授業を取ることができた。	
2. 履修単位数	
一学期の登録単位数・科目数を教えてください。	5科目 60単位
	<input type="checkbox"/> 多すぎた <input checked="" type="checkbox"/> ちょうど良い <input type="checkbox"/> 少なすぎた
留学先大学の学生は週平均何科目とるのが一般的ですか？ 4科目/週(12時間)ぐらい	

3.授業内容

現在までに受講している授業はどのように授業が進められていますか？（予復習、テスト準備など、アドバイスもご記入下さい。）（下記授業の履修時期:2012年9月から2012年12月）

No.	コース名／教授名	時間数／週	留学先での単位数
1	Economics for Environmental Management/ Prof. Noel	2時間のレクチャーが週1回、 1時間のセミナーが2週間に1回	10credits
<p>このコースには1クラス約30人のレクチャーと6、7人のセミナーがある。中間期の1200字のエッセイ、学期末のテストで評価される。レクチャーには特に準備は必要ないが、2週間に1回あるセミナーには事前に出される問題に解答して授業に臨む必要がある。セミナーではその問題の解説を教授ではなく、マスターの学生が行う。先生が質問をし、解答できる人が自発的に発言をする形式。準備をしたかは確認されないが、セミナーについていくためには予習が必要。セミナーの出席や発言などは最終評価に反映されない。このコースでは、経済学の視点から地球温暖化などの問題をどう改善し、持続可能な経済活動を可能にするかを学ぶことができる。</p>			
2	Development Economics/ Prof. Nick	2時間のレクチャーが週1回、 1時間のセミナーが2週間に1回	10credits
<p>このコースには1クラス約50人のレクチャーと6、7人のセミナーがある。学期末の試験のみで評価される。期末試験は選択問題とエッセイを2時間で解く形式。毎回のレクチャーの最後に成績には反映されない小テストがあり、コース受講者の中で自分がどの位置にいるかわかる。セミナーには事前に問題を解いて準備をする必要がある。セミナーでは、事前に考えてきた問題について学生約5人でディスカッションをする。予習なくしては話についていけない。ディスカッションの後に先生からの解説がある。このコースでは発展途上国の成長モデルや政策について学ぶことができる。</p>			
3	Business Economics/ Prof. Mario	2時間のレクチャーが週1回、 1時間のセミナーが2週間に1回	10credits
<p>このコースには1クラス約150人のレクチャーと10人のセミナーがある。中間期にオンラインで受ける中間テストと、学期末のテストで評価される。中間テストはオンラインで受けることができ、時間制限はないため、テキストを参考にしながら問題に答えることができる。セミナーに向けては、事前に問題を解いて提出する必要がある。提出をしなければフィードバックを受けられず、後日ウェブにアップされる解答を見ることができない。セミナーはレクチャーを補完する役割を果たし、ディスカッションはなく、事前に解いた問題について先生が解説をする。このコースでは企業が利潤を最大化させるための新古典派の理論を学ぶことができる。</p>			
4	Globalization and Development Societies/ Prof. Paul	2時間のレクチャーが週1回、 1時間のセミナーが週1回	20credits
<p>このコースには1クラス約50人のレクチャーと7、8人のセミナーがある。中間期の2000字エッセイと、学期末テストで評価される。セミナーでは事前に課題が出され、500字以内で解答を書き提出しなければならない。4人グループに分かれて事前に出された課題についてディスカッションをする。ディスカッションの後に先生から解説がある。かなりの準備なくしてはディスカッション中に黙りこくることになってしまう。レクチャーは毎週テーマが変わり、授業の前後にはウェブにアップされるリーディングを読む必要がある。このコースは20単位なので課題の量も多く、私が履修したなかで一番大変だった。コースで扱う内容は多様で、発展や貧困について幅広く学ぶことができる。</p>			
5	English Language in Use	3時間のクラスが週1回	10credits
<p>留学を申し込んだときに英語のスコアが基準を満たさなければ履修を義務付けられる。1クラスに約20人おり、アジア、特に日本人がその大半を占める。他の授業と違って、学生同士の距離が近く授業を通して仲良くなることができる。授業では、文法やリスニングの練習をしたりエッセイやレポートの書き方を学んだりすることができる。エッセイ、レポート、プレゼン、リスニングを通して評価をつけられる。内容は基本的なことが多く、特別厳しくも難しくもない。学べることは明治大学の英語の授業とあまり変わらないかもしれない。</p>			

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床		起床				
9:00	授業 (環境経済学)	起床	セミナー (ビジネス経済学)	起床	起床	起床	起床
10:00	授業	授業(英語)				終日自由、 遊ぶ日にしてい た。	終日自由、 翌日は授業な ので勉強の日に していた。
11:00		授業	授業 (ビジネス経済学)		セミナー (開発経済学)	(友達とご飯、買 い物、旅行、ハ イキング、サッカ ー観戦など)	
12:00		授業	授業	セミナー (グローバリゼ ーション)			
13:00	授業(グローバ リゼーション)						自習
14:00	授業	Language Exchange (日本語と英語で学 生とスピーキングの 練習)	自習	自習	授業 (開発経済学)		自習
15:00		Language Exchange	自習	自習	授業		自習
16:00	自習	自習	自習	自習	Language Exchange		自習
17:00	自習	自習	自習	自習	Language Exchange		
18:00		自習					
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

毎日授業の予習、復習は欠かせないが、徹夜しなくては終わらないというほど忙しくはなく、比較的自由な時間は多い。明治大学で既に勉強してきた経済学の授業は特別難しいとは感じず、授業にもなんとかついていくことができている。留学への準備において、英語だけではなく、専攻の知識もつけていくことが留学先でより良く勉強するために必要だと感じた。上記のスケジュールにもある通り、夜まで図書館にこもって勉強を集中してやることはあまりない。夜は友達とご飯に行くこともあるが、自分の部屋で過ごすことが多い。学校の寮の1人部屋に住んでおり、8人でキッチンを共有している。フラットメイトは1年生のイギリス人がほとんどで、共有スペースで話すことはよくあるが、一緒に遊びに行くことは少ない。共有スペースを汚く使う人はいないこともありトラブルもなく快適に生活することができる。一緒にご飯にいたりする友達は正規の学生で日本語を勉強している人が多い。日本に興味を持っていてくれるためこちらの英語がどんなに下手でも仲良く接してくれるからだ。マンチェスター大学の日本語学科は3年次に日本への留学が必修であり、他の大学と比べて日本語学科の規模が大きい。そのため日本語を勉強している学生が多いので、Japanese Societyのイベントが頻繁にあり、日本に興味のある学生と簡単に知り合うことができる。その分マンチェスター大学全体の規模もかなり大きく、明治大学と同じで、授業や普通の学校生活で新しい友達を見つけることは難しい。また、日本語学科では留学が必修なためマンチェスター大学は多くの日本の大学と協定を結んでおり、日本からの交換留学生は他大学に比べて多い。私は英語を話す機会を作るために Language Exchange というものを頻繁に行っている。Language Exchange とは、日本語を勉強している学生と1対1で英語と日本語の両方で話すことであり、普通の会話や、ご飯に行って大勢で会話するよりも、効率良くスピーキングを練習することができる。普通に生活しているだけでは、授業を受けて、自習をすることが中心なため、英語を話す機会は不十分であるので、積極的に英語を話す機会を作るようにしている。マンチェスターには日本食レストランや日本食が売っているスーパーマーケットがあるため、食には困ることはない。街も程良い大きさで、治安も悪くはないため、マンチェスターは快適に生活できる留学先の1つだと思う。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

ここまでの留学を通して既に良い経験をできているなど日々感じています。もちろん海外での生活は楽しいことばかりではなくつらいこともあります。しかし、そのつらいことが楽しいこと以上に今後に生きる良い学びとなっています。留学を目指している皆さんは今抱えている留学へのワクワク感を大切に留学の実現に向けて全力で突っ走って行ってほしいと思います。留学へのワクワク感を変わらず持ち続け、留学での目標が明確に定まっていれば、留学を最大限に楽しめ、どんな困難も乗り越えることができると思います。留学という本当に貴重な経験に向けて頑張ってください。留學生活の中心はやはり学問なので、自分が本当に熱中して勉強できる学問を見つけることでより充実した留學生活を送れると思います。私のここまでの留学の経験が少しでも留学を目指す皆さんの役に立つと嬉しいです。何か聞きたいことがもしあれば気軽に国際教育事務室を通して私に聞いてください。